

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 23 年 7 月 7 日 (2011.7.7)

【公表番号】特表 2010-528429 (P2010-528429A)

【公表日】平成 22 年 8 月 19 日 (2010.8.19)

【年通号数】公開・登録公報 2010-033

【出願番号】特願 2010-509489 (P2010-509489)

【国際特許分類】

**F 2 1 S 2/00 (2006.01)**

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 S 2/00 4 9 8

F 2 1 S 2/00 4 9 1

F 2 1 S 2/00 4 9 3

F 2 1 S 2/00 4 9 5

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 5 月 18 日 (2011.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

空洞深さ  $H$  及び面積  $A_{out}$  の出力領域を有する中空の光再利用空洞を形成する前側及び後側反射板と、

前記光再利用空洞内に光を放射するように前記バックライトの周囲に近接して配置される 1 つ以上の光源と、を含む、エッジ点灯式バックライトであって、

前記光源は、平均的平面光源分離度  $SEP$  を有し、かつ合計すると活性発光面積  $A_{emit}$  を有し、

第 1 パラメータが、 $A_{emit} / A_{out}$  に等しく、

第 2 パラメータが、 $SEP / H$  に等しく、

前記バックライトが、 $0.0001 \sim 0.1$  の範囲内にある前記第 1 パラメータ及び  $3 \sim 10$  の範囲内にある前記第 2 パラメータによって特徴付けられる、エッジ点灯式バックライト。

【請求項 2】

空洞深さ  $H$  及び面積  $A_{out}$  の出力領域を有する中空の光再利用空洞を形成する前側及び後側反射板と、

前記光再利用空洞内に光を放射するように前記光再利用空洞の周囲に近接して配置される 1 つ以上の  $N$  個の光源と、を含む、エッジ点灯式バックライトであって、

前記出力領域が、一般に矩形の形状であり、少なくとも  $762\text{ mm}$  ( $30\text{ インチ}$ ) の対角寸法を有する、エッジ点灯式バックライト。

【請求項 3】

出力領域を有する中空の光再利用空洞を形成する前側及び後側反射板と、

前記光再利用空洞内に光を放射するように配置される  $N$  個の光源と、を含むバックライトであって、

前記  $N$  個の光源が、互いに隣接する  $M$  個の光源の部分集合体を含み、 $M$  個が、少なくと

も N 個の 10 %、又は少なくとも 2 つ、又はその両方であり、

前記バックライトは、前記 N 個の光源すべてを活性化させ及び前記 M 個の光源すべてに  
関しては選択的にオフにさせたときの両条件下で、その出力領域において少なくとも 50  
%の VESA の輝度均一値を呈する、バックライト。